

日本學研究叢書 22



「東アジアにおけるトランスナショナルな文化の伝播・交流—メディアを中心に—」
梁蘊嫻 編

現今全球化急速發展，世界各國文學、思想、言語等之共通性日益顯見，此為媒體發達所致。提到「媒體」，一般的認知多為報紙、雜誌、電視、廣播等近現代以降所發明的產物，本書所探討之「媒體」，欲以更廣泛的觀點來解釋。不僅是指現代的科技產物，亦包括近現代以前文化傳播之媒介、方法、手段。隨著時代的演變，「媒體」的型態也有所不同。因各式各樣媒體的出現，產生了新的跨國界文化。媒體的發達，造就了文化國境日漸消失，亦即文化全球化之現象。

本書以台灣、日本及整個東亞的文化交流與傳播為軸心，審視傳播文化的媒體之演變與文化傳承方式的關係，探討異文化如何透過媒體，相互影響，進而產生新的文化。在本書中，以「文學」「思想」「語言」之三種範疇，探討媒體所帶來的文化重建現象。希冀以「媒體」為主題、打破以往既有的學術框架（亦即是大學裡的學系分類），提供一個跨領域的討論空間是本書最大之目的。◆

グローバル化が急速に進む今日、世界の文学、思想、言語などをつないでいるのは、多様なメディアである。メディアは、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの近現代以降できあがった媒体として捉えられることが多いが、本書ではより広義的な意味を取っている。多様なメディアの出現と蓄積により新しいトランスナショナルな文化・知識が生成している。メディアの発展が進むことで、文化の国境は消えつつあるといえよう。

本書は、台湾・日本を含めた東アジアにおける文化交流・伝播の様態に迫り、異文化がどのようにメディアを通じて、どのように影響し合い、そしてどのような新しい文化が形成されるかを考えるものである。ここでは「文学」「思想」「言語」という三つの視点から、メディアによる文化の再形成について検討しているが、「メディア」を取り入れることによって、既存の学問領域、すなわち大学の学科に分類されるような枠を超えて、横断的に議論する場を作るのが、本書の目的である。◆

日本學研究叢書一覧 (1-21)

1	国際日本学研究的の基層—台日相互理解の思索と実践に向けて—	徐興慶、太田登 編
2	国際日本学研究的の最前線に向けて—流行・ことば・物語の力—	林立萍 編
3	日本近現代文学に内在する他者としての「中国」	范淑文 主編
4	日本中世文学における儒道典籍の受容—『沙石集』と『徒然草』—	曹景惠 著
5	東アジア龍船競漕の研究—台湾・長崎・沖縄の比較—	黃麗雲 著
6	現代日本語造語の諸相	林慧君 著
7	転換中の EU と「東アジア共同体」—台湾から世界を考える—	徐興慶、陳永峰 主編
8	近代東アジアのアポリア	徐興慶 編
9	朱子学と近世・近代の東アジア	井上克人、黃俊傑、陶徳民 主編
10	明治日本における台湾像の形成—新聞メディアによる 1874 年「台湾事件」の表象—	陳萱 著
11	日本昔話語彙の研究	林立萍 著
12	非断定的表現「(し) そうだ」に関する語用論的考察	黃鈺涵 著
13	詩に興り礼に立つ—中井竹山における『詩経』学と礼学思想の研究—	田世民 著
14	台湾法における日本的要素	王泰升 著
15	石川啄木詩歌研究への射程	林水福、太田登 編
16	台湾に生まれ育つ台日国際児のバイリンガリズム	服部美貴 著
17	自由・平等・植民地性—台湾における植民地教育制度の形成—	山本和行 著
18	帝国日本の教育総力戦—植民地の「国民学校」制度と初等義務教育政策の研究—	林琪禎 著
19	日本統治期台湾における訳者及び「翻訳」活動—植民地統治と言語文化の錯綜関係—	楊承淑 編
20	東アジア情勢の転換とアベノミクスの影響	蘇顯揚、魏聰哲 編
21	思想史から東アジアを考える	辻本雅史、徐興慶 編

* 在日本欲購買本叢書請洽紀伊國屋書店。
本叢書は日本の紀伊國屋書店でお買い求めいただけます。